



ロータス林の わくわく通信 12月号



12月 師走

先日、我が家では、クリスマスツリーを出しました。我が家のツリーの飾りは、ディズニーマリーのキャラクターで、グーフィーや、ミニーマー、ミッキー、ドナルドが光り輝いてとっても楽しいデコレーションです。クリスマスは皆様にとっても、色んな思い出があるのではないのでしょうか？

子供の頃は、スーパーによく置いてある、ぎっしりお菓子が詰まったクリスマスブーツが欲しくて泣いたり、クリスマス会に来たサンタのおじさんの正体が、同じ組の子のお父さんだってショックを受けたり、大人になってからは、ちよっぴり淋しかったひとりぼっちのクリスマス。

さて、1897年の事、アメリカのニューヨークサン紙に、8歳の少女バーシニアからの「サンタは本当にいるの？」という子供らしい質問が届きました。当時のニューヨーク・サン紙の記者フランシス・P・チャーチは同時の社説で愛情を込めて味わい深い返事を書きました。「この世に愛や、思いやり、真心があるのと同じように、サンタクロースも確かにいるのです。」その記した名文は、後に世界中で出版されたそうです。

クリスマスが終われば、さあ大掃除！「今年の汚れは今年のうちに」というのは、どこかの洗剤メーカーのキャッチフレーズですが、気持ちよく新しい年を迎えたいですね。



来年も皆様にとって良き年でありませうように。



さかえちゃんの自動車コラム

～来月から、リサイクル法が始まります～

- Q1. どうして今リサイクル法が必要なの？**
A、 現在、年間で約400万台の車が廃車になっていて、その総重量の約80%がリサイクルされています。残りの20%を適正にリサイクルし、廃棄物を減らす為です。
- Q2. リサイクル料金っていくらなの？**
A、 クルマのメーカー、車種によって、1台毎に違います。クルマの解体時の発生見込み量、フロン類の量、エアバッグ類の個数などによって決まります。
- Q3. リサイクル料金はいつ支払うの？**
A、 ①新車＝2005年1月以降の登録時
②今お乗りのクルマ＝2005年2月1日より車検時に確認
③廃車＝2005年1月以降の廃車時
- Q4. どこで支払うの？**
A、 陸運事務所傍の団体（整備振興会）の窓口、また自動車リサイクル促進センターに事業登録された整備工場（県内でリサイクル券が発券できる業者は約350社です）
- Q5. いつまで集めるの？**
A、 3年間の時限措置です。（既販車は、3年間でリサイクル料金の預託を完了する予定らしいです）

※来年2月1日以降の車検時には、リサイクル料金をご用意下さい！



なっちゃんの今月の おすすめ本

【朝食を抜くと病気にならない】

著者：石原 結實 出版社：幻冬舎

朝食は、英語でBreakfast, fast（断食）をbreak（止める）という意味で、睡眠中は誰でも断食しているのと同じなので、それをやめる食事という事になります。

食事をすると、胃腸に血液の流れが集中し、逆に朝食を抜くと、胃腸に集めるべき血液が、他の臓器に比較的多く供給される事により、排泄が良くなったり、種々の不調が改善される。と言うのが著者の主張です。（野菜ジュースで十分だと）

「朝食を食べないと力が出ない」という説に対しては、相撲の力士が朝食抜きで、4時間も猛稽古するんだから、信憑性はないと反論しています。



しかも、好き嫌いは大いにして、嫌いなものは食べず好きなものはしっかり食べる事が健康に良い。なぜなら、この30億年間に生命が経験したことの全てをDNAが記憶していて、自分の健康を守るために好き嫌いの信号を発しているからである・・・と書いてある。

ほんまかいな・・・という感じもしますが、目からウロコの本でした。

サラリーマン川柳

- ◆ぼく学校 パパは会社で ママゴルフ
- ◆「めし」「ふる」に「下さい」ついて 妻動く
- ◆今日もまた レンジと会話 妻は留守
- ◆帰宅して ふろ めしよりも 犬のえさ
- ◆月イチで 戻る我が家に 席はなし
- ◆耐えてきた そう言う妻に 耐えてきた
- ◆いい家内 10年経ったら おっ家内
- ◆ショッピング 昔デパート 今百均

(株)林自動車

〒770-0012
徳島市北佐古2番町4-44
TEL 088-631-6685
FAX 088-631-5151
URL <http://www.lotashayashi.co.jp>
E-mail info@lotashayashi.co.jp



おすぎの3番弟子

英治の映画コーナー

『ライフ・イズ・ビューティフル』
《人生は宝物》
80%が笑いで、20%が涙の感動映画。
映画が終わってから、ジワッと哀しみがこみ上げてきて、しばらく余韻で席が立ってなかった。帰り道でも思い返して涙ぐんだ映画はこれをはじめ。

ストーリーは、第二次世界大戦下、ユダヤ人のガイドは、息子のジョズエの5歳の誕生日に、息子と共にナチスの軍隊に、強制収容所に連行されてしまう。

「ガス室送り」という絶望が支配するホロコーストで、ガイドは、息子を悲しませないために、ここでの生活は『ゲーム』なのだ、世界で一番美しい嘘を貫き通す。どんな状況にあっても、決して人生の価値を見失わず、人を愛し、希望を抱き、ユーモアで『人生はすばらしい』と考え、愛する家族を守り抜いた勇敢な男の物語。

